

令和5年度 学校評価実施報告書

学校名: 五常小
校長名: 榊 正文

黄色の箇所を入力して、提出してください。

1. 学校教育目標
【スローガン】 毎日楽しい学校 【めざす学校像】 児童が感動し、児童の期待に応える学校 【学校の使命】 児童が安心して楽しく通える安全な学校づくり 児童の確かな学力の育成、学力の向上

2. めざす子ども像
【教育目標】 よく学び 思いやりのある行動をする たくましい子 【今年度重点目標】 自ら学び、自他を尊重し、仲間と高めあえる子の育成

記入例を参考に、作成をお願いします。

基本方針	重点項目	具体的な取組内容					
		本年度の重点的な取組(4月)	取組指標(誰が、何を、どのくらいの頻度で)	評価指標(目標)※具体的な数字を入れる	指標の結果	成果と課題	改善策
確かな学力と自立の力を育む教育の充実	基礎学力の向上	新しい朝学習(オビタイム)の推進	毎朝15分のオビタイムにおいて、漢字前倒し及び反復学習・音読・百ます計算(毎日)	1月学年配当漢字テスト 平均正答率80%以上(3月9日) 保護者アンケート 学校は、基礎基本の定着に向けて	12月漢字計測テスト 学校平均76% 保護者アンケート 基礎基本の定着 89%	オビタイム 2~6年 7月に計測テスト1回目 平均42% 2回目 76% 1年1回目(ともに12月) 77% ※テストのレベルを上げたため、目標修正 1月70% 3月80% 長期休暇熟語課題→計測テスト 1回目(9月)59% 2回目(1月)72% 音読は暗唱に移行、百ますはタイムが大幅に改善 ほぼ全児童が集中できる。	学校全体で朝学習を標準化し基礎学力を向上させる「カタチ」は実現したが、今後継続することで教職員と児童の中に自律を育む「定着」が必要である。 策)要支援児童対策の総括と個別対応 策)学力担当で詳細にマニュアルを改善 ※4年児童からマイスター検定スポーツ編の企画案があがり、来年度実現していく。
	自律的に学ぶ力の育成	五常小検定の創設	漢字、百ます計算、音読・暗唱のマイスター認定制度の運用(2学期~)	段位獲得児童のべ100名 児童アンケート 家で自分で計画を立てて学習している。70%以上	段位獲得児童のべ350名(2月21日時点) 児童アンケート 自分で計画を立てて学習 93%		
豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	いじめ不適切事案が起きにくい風土の醸成	ルールメイキングと主権者教育	総合の学習で6年生に主権者教育を行うとともに、児童と「学校安心ルール」を作成することで発達支持的生徒指導とするなど、いじめ不適切事案が起きにくい風土を作る。(通年)	児童アンケート 先生は自分たちの意見や考えを大切にしてくれる 90%以上 落ち着いた雰囲気の中で授業を受けている 80%以上	児童アンケート 大切 95% 落ち着く 76%	研修課のルールメイキングプロジェクトに参加。教育長出席全市公開授業を実施。研修課の特別活動等研修で、6年生児童のみで取り組みを発表。ルールメイキング(RM)関西生徒大会に小学生として全国初参加。	一部の学年・学級で%が低い。作成したルールにもとづいて学校全体でぶれない生徒指導を行っていく。 RMは継続の課題を新6年に引き継ぎ 、発達支持的生徒指導を行う。
教職員の資質と指導力の向上	児童との時間を生み出す働き方改革の推進	超勤時間の管理 業務の精選 業務リスクの低減	教職員個別の時間外勤務時間を見える化する。教職員のボトムアップで細かい業務の精選と削減を行う。学用品の購入のあり方を見直し省力化とリスク低減を実現する。	平均超勤時間の削減 昨対 1H/月・人	平均超勤時間 本校昨対3H、本市対3.7H/月減(12月末) 学用品の現金取り扱いを全面廃止。	①計画年休制度「私の大切な一日」、②学年チーム制、③給食指導交替で教員負担の軽減、④改革企画のボトムアップチームの発足 ストレスチェックの指標で改善の兆しあり。	①について、ラーケーションのGW試行実施。 ④について、評価の簡素化等の新しい課題に取り組む。
学びのセーフティネットの構築	いじめの未然防止や早期対応の仕組みづくり	いじめ対策委員会含む組織の機能改善	いじめ対策委員会が機動的に機能するよう「基本方針」を改訂する。いじめ発生時の聞き取り、記録、検討、対応、進捗確認を迅速かつスムーズに行うとともに、それが可能になるようフォーム等を改訂する。	児童アンケート 学校が楽しい 90%以上 先生は困った時にいつでも相談に乗ってくれる 90%以上	児童アンケート 学校が楽しい 89% 先生はいつでも相談 97%	「いじめ基本方針」を改訂。発生時の迅速な対応と記録が可能になった。いじめ法への教職員の意識の改善がみられる。「子どもたちの新しい居場所」(Flags)を民間事業者が開設、登録者他校含め5名。「おしごとマルシェ」を6回開催。毎回数百人が来場。市の認可のもと「子ども食堂」を開設。(以上は2月21日時点)	「子どもたちの新しい居場所」「おしごとマルシェ」(Flags)は、今年度水室小、山之上小においても開催され、拡がりを見せている。引き続き、運営資金の調達が課題である。
	児童の居場所の確保	コミュニティスクールによる子どものための新たな居場所づくりプロジェクト	校内に不登校や学校・学級に入りづらい子どものための新たな居場所をつくるプロジェクトをコミュニティスクール(地域コミュニティ)の取り組みとして実施する。税を投入せず事業者と協力者によって自立・自律的かつ持続可能な運営を行う。(通年・毎日)	新たな不登校児童を2名以下に抑える。	新たな不登校児童は1名	上記運営費には、ふるさと納税企業版を活用予定。児生課において公民連携募集、市において「ふるさと納税」の補正予算を編成。営業に市教委が同行。昨年度からの不登校児の登校を実現するとともに、新たな不登校を防止できた。近隣他校の登録者がある。	
	非常災害時の危機管理	危機管理マニュアル・訓練の点検と改善	危機管理マニュアルを点検しガイドラインに沿って適宜見直すとともに、警察・消防等に指導を受けるなど各種非常時訓練を真に役立つ訓練に改善する。	保護者アンケート 非常災害時に備え適切に安全教育を行っている。90%以上	保護者アンケート 非常災害時に備え適切に安全教育 91%	避難訓練は今年度もぬきうちで昼休みに実施した。非常時において本当に役立つ訓練をするべきという教職員の意識の向上が見られる。	
社会に開かれた学校づくりの推進	保護者ニーズを踏まえた学校経営	校長へ直接意見する仕組みの運用 重要案件への保護者の参画	校長へ直接意見を届ける仕組み等により保護者意見を汲み取って学校だより等で改善状況を報告する。重要案件について保護者意見を踏まえて成案とする。(通年)	保護者アンケート 保護者ニーズを踏まえた学校経営を行っている。90%以上	アンケート 保護者ニーズを踏まえた学校経営 85%	①保護者・地域住民によるボランティア清掃・花壇整備チームの発足 ②1,2年教室での更衣時、男女区分けするカーテンを設置 ③ラーケーション企画へのPTA運営委員会の意見を聴取 ④児童のケガ対応連絡マニュアルにPTA運営委員会の意見を聴取 校長への意見提言は、計127件(2月21日時点) 毎月の学校だよりで意見等と回答を掲載し、学校の考え方を発信している。清掃・花壇整備チームと着替えカーテンは、保護者からの発案を実現したものの。	保護者・地域とのコラボや広報面での目的・目標は達成していると考ええる。個別児童、保護者への指導等への不満については、適時適切に説明を尽くし理解を求めていく。
	児童の居場所の確保	コミュニティスクールによる子どものための新たな居場所づくりプロジェクト	校内に不登校や学校・学級に入りづらい子どものための新たな居場所をつくるプロジェクトをコミュニティスクール(地域コミュニティ)の取り組みとして実施する。税を投入せず事業者と協力者によって自立・自律的かつ持続可能な運営を行う。(通年・毎日)	新たな不登校児童を2名以下に抑える。	新たな不登校児童は1名		
	学校情報を積極的に発信	学校情報を毎日積極的に発信する。	学校の経営方針、学校評価、ブログ、学校だより等で学校情報を毎日積極的に発信する。	ブログアクセス数 300件以上/稼業日(稼業日約360) 保護者アンケート 学校の様子がよくわかる。90%以上 保護者アンケート 学校の方針や教育の重点が明確である。90%以上 総アクセス数 44校中R4年度6位→R5年度内に4位をめざす	アクセス328件/稼業日 アンケート 学校の様子 92% 学校の方針や教育の重点が明確 85% 総アクセス順位 44校中 4位	ブログ更新は、今年度3000回(2月21日時点)	

評価結果	改善に向けた支援策
<p>学校関係者評価(学校運営協議会または学校評議員と保護者からなる学校関係者評価委員会による)年度末</p> <p>・(いじめ防止基本方針について)本校のものは表現があいまいで、児童は何がいじめにあたることなのか、イメージできていないのではないか。幼いころから具体的に理解できたほうが良い。基本方針を改定したら、全教職員で内容を把握してほしい。いじめ相談体制の周知はミルメールでも行うとともに、保護者においてささいでも気になることがあれば、担任等に相談するよう知らせしてほしい。</p> <p>・(ルールメイキングについて)できたルール表は、保護者にも報告してほしい。5年生に引き継ぐときは、6年生から直接伝える場があったほうがよい。5年生に続きを考案させることで、「6年生がつくったルールから、自分たちのルール」になる。</p> <p>・(不登校支援「子どもたちの新しい居場所」について)市のお墨付きを得ていることを、きちんと保護者・地域に伝えた方がよい。</p> <p>一人親の方に聞くと、不登校の居場所は大事であるということだった。もしそれが無ければ仕事を続けられなくなり生活に支障が出るからである。</p> <p>・(トイレ清掃について)学年縦割り班清掃は、ぜひやるべきである。異学年のかかわりが大事で、6年生(高学年)の成長にもつながる。</p> <p>・(そのほか)ブログ等情報発信は、今後も活発にしてほしい。学校にとって色々厳しい意見は来ていると思うが、それは学校が情報を開示したから。これまでは学校のことがよくわからなかったの、言いようがなかった。「提言・意見」の仕組み(メール募集)は、意見を言うハードルが下がってよい。</p>	<p>・(いじめ防止基本方針について)府立緑風冠高校のものを参考にすべきである。どういものがいじめにあたるのか、具体的に書いてある。また、いじめ事案について「即日」いじめ対策委員会に報告するというように、期日を具体的に記述している。具体的に書かれてあると、保護者も良く理解でき、家庭で指導できる。</p> <p>・校長が交代した場合には、これまでの良いところを継続し、整理すべきところはしていくことが大事である。学校経営計画を承認する機能がある学校運営協議会は、良いことを継続していくための装置であることがわかったの、今後も意欲的に参画していく。</p>